

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		介護老人保健施設事業費			担当所属	病院管理室			
基本情報	分野	5 福祉・健康・医療	事業期間	～ 永年					
	基本施策	2 高齢者福祉の充実	会計種別	介護老人保健施設事業会計					
	推進施策	2 介護サービスの充実	実施計画		総合戦略				
事業概要	対象	周南市老人介護保険施設 ゆめ風車							
	意図	経営の健全化を図り、長期的に安定して経営する。							
	成果	介護保険制度における高齢者の自立支援と尊厳の維持、家族の介護負担の軽減を担う。							
	手段	一般会計から、企業債の元利償還金のうち用地取得分の全額及び建物建設分の3分の1を補助金として繰り出す。							
指標	活動指標	指標名		単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込	
		経常収支比率		目標値	%	101.4	100.1	100.1	100.3
				実績値	%	95.5	91.9	99.9	-
				目標達成度	%	94.2	91.8	99.8	-
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算		
	トータルコスト		53,073	53,778	54,396	54,248	54,249		
	事業費		44,231	44,231	44,231	44,231	44,232		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		44,231	44,231	44,231	44,231	44,232		
	人件費合計		8,842	9,547	10,165	10,017	10,017		
正職員		8,842	9,547	10,165	10,017	10,017			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	1.20	1.30	1.40	1.40	1.40			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
周辺環境	開始時の周辺環境								
	市民の施設利用の機会を確保するため平成16年度から公営企業として運営を開始した。								
	現状の周辺環境								
評価	評価項目								
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		A					
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A					
3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A							
有効性	4. 計画の実施状況		B						
	5. 目標 (活動指標等) の達成度		A						
	6. 上位施策への貢献度		A						
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B						
効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A		長期的に安定した経営を行うために、繰出金の額が適正かどうか毎年検証が必要である。				
	9. 類似事業との統合・代替の検討		A						
	10. これまでの実施手段		B						
総合評価	A		経費節減の余地が小さくなってきている中、入所者の在宅復帰を促進することで、利用者の満足度向上とともに、単価の向上を目指す。						
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)								

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		市立病院事業費			担当所属	病院管理室		
基本情報	分野	5 福祉・健康・医療	事業期間	～ 永年				
	基本施策	5 地域医療の充実	会計種別	病院事業会計				
	推進施策	1 地域医療体制の充実	実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	新南陽市民病院						
	意図	市民病院の経営の健全化を図り、長期的に安定して経営する。						
	成果	地域にとって必要な医療体制を確保し、地域にとって必要な病院として存続する						
	手段	一般会計から、①救急医療の確保に関する経費②リハビリテーション医療に要する経費③高度医療に要する経費④医師・看護師等職員の研究・研修に要する経費の1/2、⑤医師確保対策に要する経費（派遣職員通勤経費）⑥建設改良に要する経費（借入の元金・利息）（平成14年以前は2/3、平成15年度以降は1/2）を繰り出す。						
指標	活動指標	指標名	単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込	
		経常収支比率	目標値	%	97.6	98.6	100.3	100.3
			実績値	%	93.4	93.2	100.9	-
			目標達成度	%	95.7	94.5	100.6	-
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	
	トータルコスト		473,667	458,324	446,893	463,271	458,980	
	事業費		461,878	445,839	435,275	451,823	447,532	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	80	
	一般財源		461,878	445,839	435,275	451,823	447,452	
	人件費合計		11,789	12,485	11,618	11,448	11,448	
正職員		11,789	12,485	11,618	11,448	11,448		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	1.60	1.70	1.60	1.60	1.60		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
周辺環境	開始時の周辺環境							
	開業以来山大医学部の協力を受け、必要な医師数を確保していたが、整形外科医の減員により収支改善が難しくなっている。							
	現状の周辺環境							
評価	今後の予想される周辺環境							
	診療報酬の改正は、想定される。							
	評価項目		評価	評価の理由				
妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A					
	2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
	3. 事務事業の目標（活動指標等）		A					
有効性	4. 計画の実施状況		B					
	5. 目標（活動指標等）の達成度		A					
	6. 上位施策への貢献度		A					
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	長期的に安定した経営を行うために、繰出金の額が適正であるか、毎年検証が必要である。				
	9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
	10. これまでの実施手段		B					
総合評価	A		安定した経営のために、新改革プランの推進に加え、現状を踏まえた経営分析を医療公社と共に進め、収益の改善につとめる。					
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							